

令和5年度第2回北栄町文化財保護委員会

日時 令和5年12月1日（金）
午後2時30分～3時30分
場所 北栄町中央公民館 小研修室

日 程

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報告事項

（1）町内遺跡発掘調査事業について…【資料1】

（2）特別天然記念物コウノトリについて…【資料2】

（3）その他

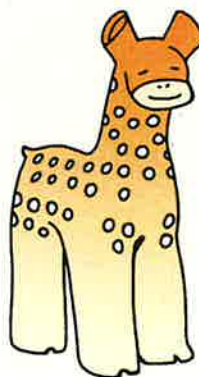
4. 協議事項

（1）令和6年度実施事業について…【資料3】

（2）その他

5. その他

6. 閉 会



北栄町文化財キャラクター
鹿子(しかこ)

モデル：北栄町土下から出
土した鹿埴輪

☆町報「鹿子の宝箱」で北栄
町の文化・文化財を紹介
しています。

北栄町文化財保護委員会委員

番号	氏 名	所 属	備 考
1	南場 兄一	学識経験者	委員長
2	中前 雄一郎		副委員長
3	横濱 純一		
4	遠藤 晃子		
5	荒木 千彰		

※任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

〈事務局出席者〉

番号	氏 名	職 名	所属等	備 考
1	笠見 隆志	教育長	教育委員会	
2	前田 美友紀	課長	生涯学習課	
3	池口 沙弥香	主任	文化・スポーツ推進室	
4	牧本 哲雄	文化財専門員	文化・スポーツ推進室	

町内遺跡発掘調査事業について

1. 六尾反射炉跡の発掘調査について

(1) 調査期間 令和5年6月26日(月)～10月24日(火)

(2) 現地説明会

日時：令和5年10月14日(土) 午前9時～

参加者：①12人 ②14人 ③17人(六尾自治会対象) 計43人

(3) 調査結果

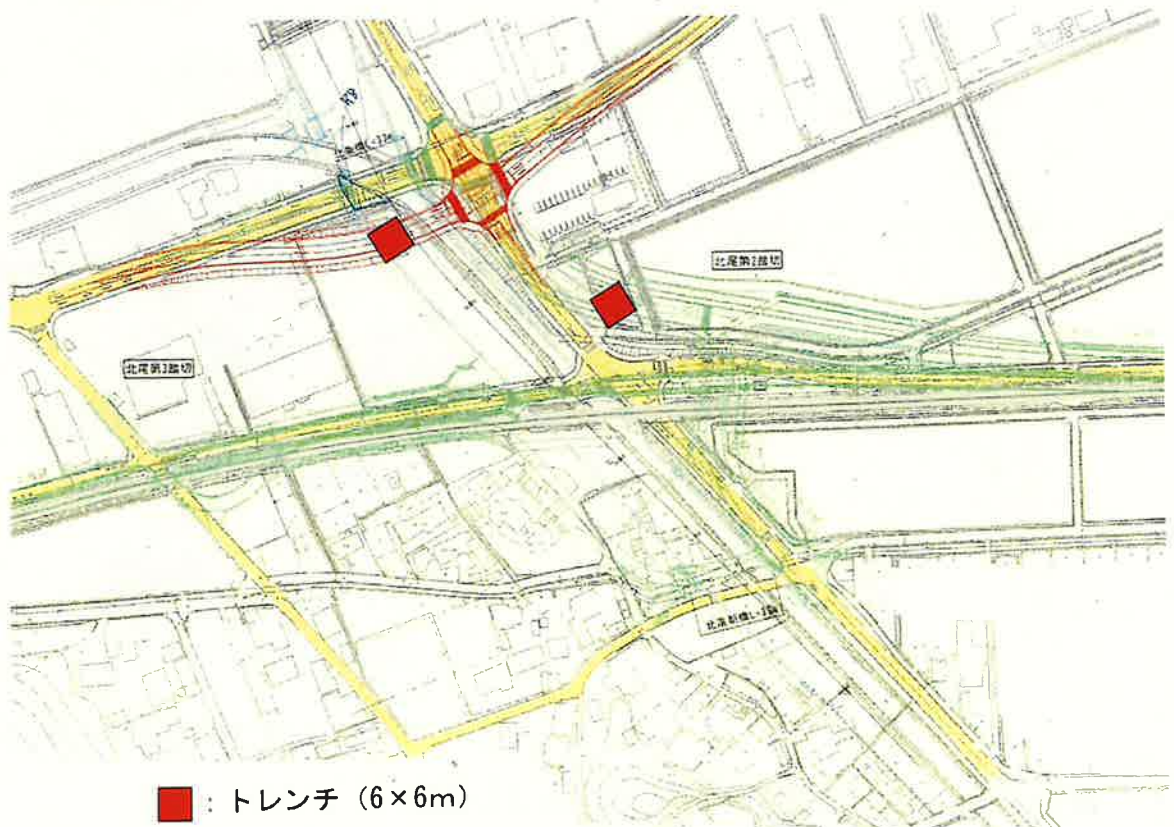
現地説明会資料参照

2. 北条川河川改修及び県道上井北条線道路改良工事にともなう試掘調査について

(1) 調査期間 令和5年11月1日(水)～12月下旬(予定)

(2) 調査方法 トレンチ調査 6×6m 2箇所(予定)

(3) 調査位置



(4) 調査状況

- ・旧水田を検出
- ・土器片・陶器片等出土
- ・第5面から足跡を検出



鹿子

六尾反射炉跡現地説明会資料

令和5年10月14日

北栄町教育委員会

1 六尾反射炉とは…

六尾反射炉は、安政4（1857）年、鳥取藩が瀬戸村の大庄屋武信佐五右衛門・武信潤太郎に命じて建造させたものです。

建造に当たっては、日本各地で建造技術を学んだ潤太郎が中心となりました。潤太郎は九州宇佐郡から職人を連れて帰国し、安政4（1857）年4月から建造に取り掛かり、同年9月に反射炉1基2炉を完成させました。6日後には大砲2門が鑄造されました。この反射炉で鑄造された大砲は性能が良く、鳥取藩各台場の他、天保山（大阪府）、池田藩（岡山県）、浜田藩（島根県）、萩藩（山口県）などに約50門が配置されました。六尾反射炉は、日本で2例目の民間建造によって成功した反射炉です。

六尾反射炉の敷地には、反射炉の他に図1のような多くの付属建物が造られていました。

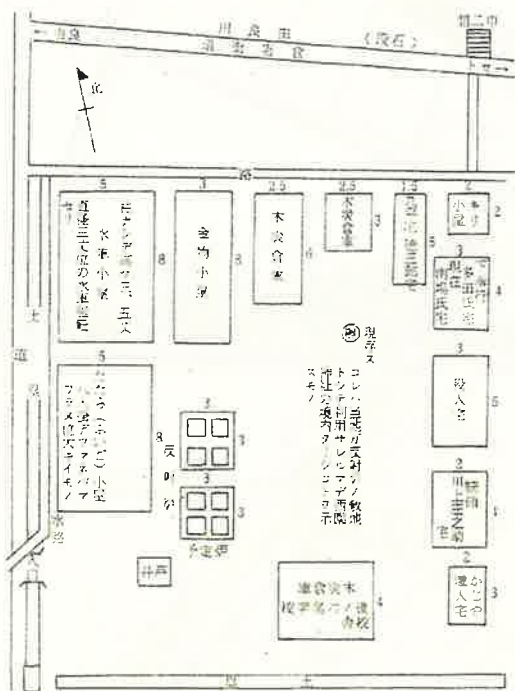


図1 六尾反射炉建物配置図（『大栄町誌』より抜粋）



図2 六尾反射炉跡トレンチ位置図

2 反射炉のその後

明治以降役目を終えると、反射炉は建物は取り壊され、現在は敷地を取り囲む土塁の一部、井戸の跡が残っているにすぎません。

3 発掘調査について

六尾反射炉跡では、令和2・4(2020・2022)年に大砲に穴をあけるために錐を回した水車が設置された水路跡や、反射炉建設に伴う造成、鍛冶炉を検出し、良好な状態で付属施設が残っていることがわかっていました。

今年度は、昨年度調査したトレンチ4を拡張、トレンチ5を深掘りして水路の規模や底面の形状を明らかにするために、発掘調査を実施しました(図3)。

【試掘調査の成果】



- 1 水路跡を深く掘り下げたところ、深さが3 m以上になること、南側は緩やかにスロープ状になっていること、標高約3.5 m付近でほぼ垂直に地山を掘り込んでいることがわかりました。幅は南側で約6.0 mとなり、やや狭まっていると考えられます。
- 2 水路跡は、地山を掘り込んでいるのですが、標高約4.2 m以上は造成(厚さ0.8 m程度)が施された後に掘り込まれていること、西側の水路の肩は造成によって成形されていることがわかり、想定以上に大規模な造成作業が行われていることがわかりました。
- 3 底面付近は、安山岩を細かく割った石材で埋められているようです。
- 4 水路の埋まった土の様子を見ると、複数回にわたって埋め戻されていることがわかりました。
- 5 出土遺物には、大量の瓦、耐火レンガ片、陶磁器類が出土しました。今年度の調査で燻し瓦片114 kg、石州瓦片20 kg、耐火レンガ片116 kg以上が出土しています。
- 6 出土遺物には、弥生土器片や須恵器片が含まれており、近辺にはより古い時代の遺構が存在していた可能性があります。

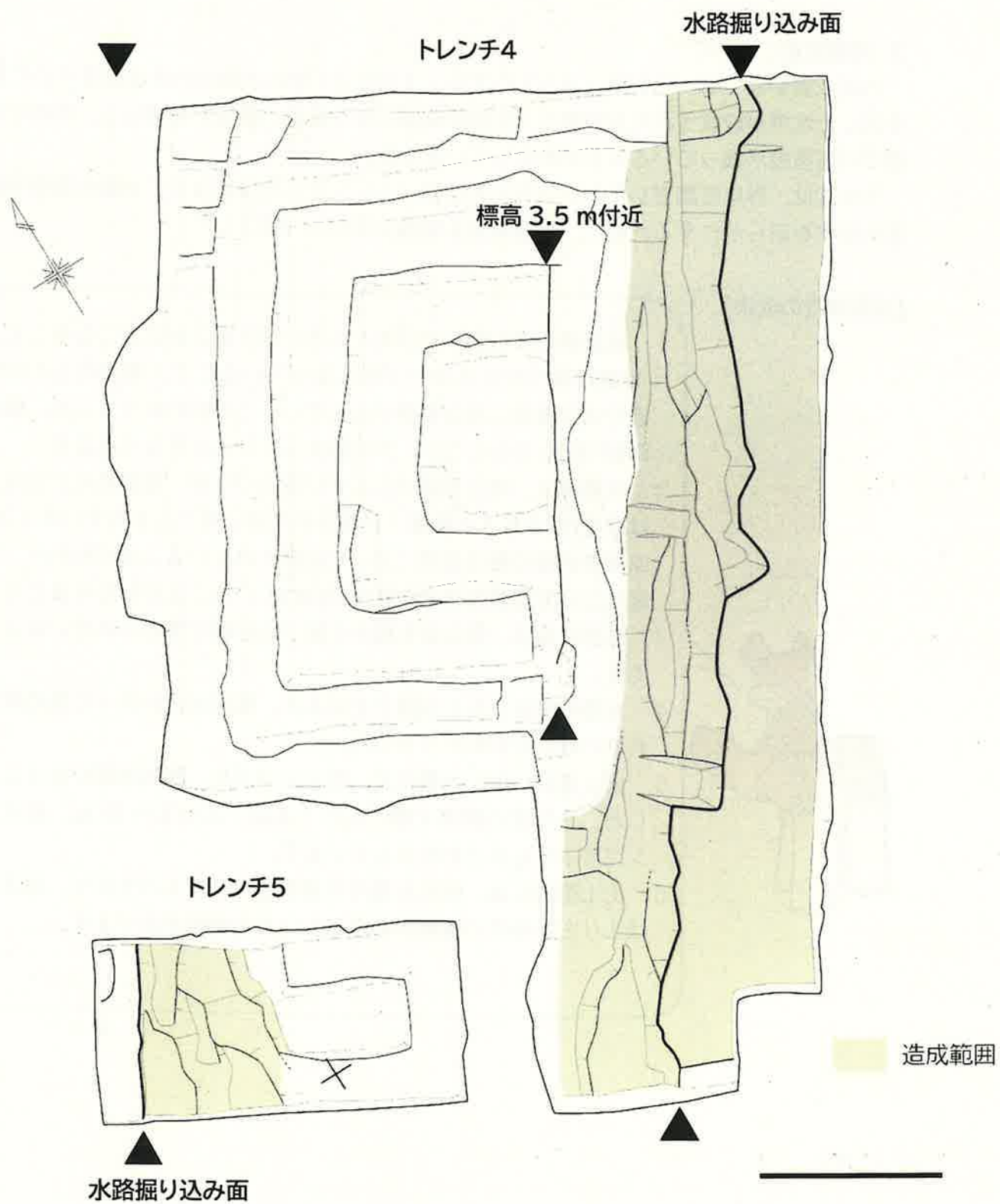


図3 トレンチ 4・5 実測図



調査地遠景（南東から）



トレンチ 4・5 俯瞰

特別天然記念物コウノトリについて

(1) 営巣場所：北栄町妻波地内の電柱

(2) 経過

令和5年2月下旬 昨年の営巣場所付近でコウノトリを確認
 3月下旬 電柱上で巣をつくり始める
 4月4日 抱卵していることを確認
 5月7日 孵化推定
 6月20日 標識足環 取付
 7月14日 J0664 巣立ちを確認
 7月16日 J0663 巣立ちを確認

(3) 親鳥及びヒナについて

【親鳥】

個体番号	性別
J0240	オス
J0172	メス

※昨年営巣したメスの親鳥（J0263）は、昨年7月に琴浦町で死亡していたことを確認

【ヒナ】

個体番号	性別	体重
J0663	メス	3.3kg
J0664	メス	4.0kg

(4) ヒナの愛称について

今年度は、コウノトリの観察・保護で協力をいただいている比山自治会（コウノトリ愛好会）に愛称をつけていただきました。

愛称	性別	個体番号	特徴
ひーちゃん	メス	J0663	嘴変形
まーちゃん	メス	J0664	

(5) 今後の予定

- ・9月議会で巣塔建設の予算が承認される
- ・入札を実施し、来年2月までには巣塔完成予定

足環取付作業の様子（写真）



①電柱上のコウノトリの巣に高所作業車で近づき、驚いて巣から落ちないようにヒナにタモをかぶせる。



②驚かせないように目かくしをして捕獲し、箱に入れて地上に下ろす。



③地上に下ろしたヒナに、兵庫県立コウノトリの郷公園の職員・日本野鳥の会の会員が足環を取り付ける。



④羽毛などの検体を採取や、体重を計測し、健康状態を確認するの。



⑤J0663 はクチバシが変形していたが、ここまで大きくなっているので、問題なく食べれているのだろうとのこと。



⑥作業終了後、速やかに雛を巣に戻す。直後に捕獲していた間に餌を採りに行っていた親（メス）が帰巢してヒナに餌を与えているのを確認。

令和 6 年度実施予定事業について

1 文化財保護対策事業

- ・文化財保護委員会の開催 3 回
- ・齋尾家住宅限定公開 2 回（11 月、3 月）
- ・指定等文化財の保護、管理報償 国指定・登録 3 件、県指定 2 件、町指定 21 件
- ・歴史探訪ウォークの開催
- ・国特別天然記念物コウノトリ・オオサンショウウオの保護
- ・各種開発事業との調整

2 発掘調査事業計画について

(1) 北尾地区（北条川河川改修・県道上井北条線改良工事）

1. 調査位置 図 1 のとおり
2. 調査期間 6 月以降
3. 調査方法 トレンチ調査 6 × 6 m 2 箇所（予定）

(2) 六尾反射炉跡

1. 調査方法

- ・航空地形測量 図 2 参照
- ・自然科学分析

2. 調査目的

- ・六尾反射炉については、武信家の衰退とともに当時の資料が失われてしまっているため、付属施設を含めた反射炉の内容や範囲が分かっていない。一部、当時の土塁、水路跡が残っているところを含めて航空測量することにより、地形から反射炉の範囲を確認する。
- ・令和 2 年度からの調査の際に出土している耐火レンガや鉄滓を科学分析することで、反射炉の構造の解明につなげていく。

3. 報告書

町内遺跡発掘調査報告書として、令和 6 年度に発行予定

